

地域景観づくり緊急支援事業の概要

予算額 2億円

景観規制を強化しようとする景観行政団体である地方公共団体を公募し、地域の景観ルールづくり、良好な景観形成につながる社会実験など、官民連携による先導的な景観形成に寄与する取組を支援する。

景観行政団体（市町村）から提案を募集

- ・ 地域景観の将来像
 - ・ 景観規制の方針・スケジュール
 - ・ 官民連携による取組
- 等を様式に記載し国に提案

先導的・モデル的・持続的な取組で
経済波及効果のあるものを選定

先導的な景観形成の取組を実施

■ 住民・事業者を巻き込んだ協働による景観づくり



地域の景観を活かした社会実験



住民主体による景観形成の取組

■ 民間開発を誘導する先導的な景観ルールづくり



模型を活用した景観規制の合意形成



(財)京都市景観・まちづくりセンターHPより

官民協議会による民間開発の誘導

景観規制の実施と良好な景観形成

- ・ 景観規制の強化
- ・ 良好な景観形成に寄与する民間投資の誘導



[応募主体]

- 景観行政団体である市町村
- 景観行政団体に移行する予定の市町村

[支援対象]

- 官民連携による先導的な景観形成の取組

[支援額]

概ね1,000万円（全額国費）

[実施期間]

- 平成21年度
- ※次年度への繰越は不可
- （複数年にわたる取組の場合は、平成21年度に限り支援を実施）

[事業評価]

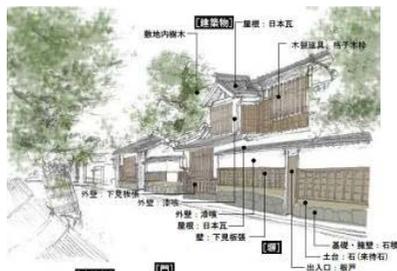
事業による効果を把握するため、取り組み結果の報告会を実施する予定。

地域景観づくり緊急支援事業（支援対象となる取組の例）

民間開発を誘導する先導的な景観ルールづくり

◇地域のデザインコードの作成

- ・地域における景観資源の調査
- ・景観形成基準の検討
- ・景観計画(案)の策定



景観形成基準の作成



建築物の高さ制限の検討

◇官民協議会による民間開発の誘導

- ・専門家によるデザインコントロール
- ・景観デザインコンペの実施
- ・官民ワークショップの開催



官民ワークショップの開催



景観デザインコンペの実施

(財)京都市景観・まちづくりセンターHPより

住民・事業者を巻き込んだ協働による景観づくり

◇地域の景観に関する社会実験

- ・ライトアップ等の景観イベントの実施
- ・景観規制のためのまちなみシュミレーション



ライトアップ社会実験



景観シュミレーション

◇住民主体による景観形成の取組

- ・住民参加による景観学習
- ・住民主体による景観形成事業の実施



住民による景観形成事業



住民による地域の景観学習

(財)京都市景観・まちづくりセンターHPより

※支援対象となる経費は、提案のあった取組の実施に係る経費であって、かつ、国からの調査委託費として措置することができるものに限ります。

地域景観づくり緊急支援事業（スケジュール等）

今後の予定

提案募集期間	:	平成21年6月2日～6月26日
応募内容の確認	:	平成21年6月下旬～
提案の選定	:	7月下旬～
契約の締結	:	7月下旬～
取組結果の報告	:	平成22年3月～

応募方法

応募書類を提案者が所在する地方の地方整備局等に郵送及び電子メール双方にて提出してください。

提案書提出先

北海道開発局	都市整備課	近畿地方整備局	計画管理課
東北地方整備局	都市・住宅整備課	中国地方整備局	計画・建設産業課
関東地方整備局	都市整備課	四国地方整備局	都市・住宅整備課
北陸地方整備局	計画・建設産業課	九州地方整備局	都市・住宅整備課
中部地方整備局	計画管理課	沖縄総合事務局	建設産業・地方整備課